

2022年10月4日

報道関係者各位

下田東急ホテル

NEWS RELEASE

ゆるキャラ「ペるりん」とのコラボで、楽しくエコ活&観光推進。  
古紙再生トイレトパーパーを全112室で利用。【下田東急ホテル】

下田東急ホテル(静岡県下田市 総支配人:伊庭勝彦)では、SDGs 推進活動の一環として全館で使用するトイレトパーパーを再生紙に切り替える取り組みを行ってきました。そして10月より、トイレトパーパーの包装紙を、下田市のゆるキャラ「ペるりん」のデザインに変更します。手に取った皆さまが、下田の魅力を知ると同時に、環境活動に賛同していただくきっかけにしたいと考えています。



ホテル公式 WEB サイトはこちら

<https://www.tokyuhotels.co.jp/shimoda-h/90934/index.html>

不要な紙を安易にゴミにすることは、貴重な森林資源を浪費することにつながります。下田東急ホテルでは、2022年4月より静岡県富士市にあるコアレックスグループの協力のもと、古紙リサイクルの取り組みを開始しています。

まずは、ホテルの日常業務で発生するオフィスパーパー等の雑紙を回収し、再生紙として還元すること。そして、ホテル全室で、古紙を再生したトイレトパーパーを使用することです。このトイレトパーパーは社会福祉法人ふじのやま 富士市立くすの木学園で製品化しており、障害者の支援にもつながっています。

古紙再生トイレットペーパーは、以前ホテルで使用していた製品より紙の白さや高級感で劣るのは否めません。しかし、やさしい肌触りの品質の確かな製品です。また、お客さまに使用していただくにあたり、下田市のゆるキャラ「ペるりん」をデザインした包装紙を導入しました。これにより、古紙再生トイレットペーパーであることを伝えると同時に、楽しみながら環境活動についてのご理解とご協力いただくことが狙いです。



この包装紙はゆるキャラ「ペるりん」の産みの親でもある、下田市在住の佐藤潤さんによるデザインです。黒船祭の初夏、海水浴の夏、伊豆グルメの秋、花と温泉の冬。四季折々の下田が、それぞれ装いを変えた「ペるりん」とともに描かれています。

このうち冬の「温泉ペるりん」は、この包装紙のために新しく誕生した新バージョンですが、今後は下田観光誘客のために、他の施設やイベントでも使用できるフリーデザインとして開放されます。



温泉べるりんは手ぬぐいと風呂桶がトレードマーク。下田観光推進のため、フリーデザインとなります。

**【感染症拡大防止の取り組み】**

下田東急ホテルでは、お客さまや従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みを実施してまいります。

<https://www.tokyuhotels.co.jp/shimoda-h/information/69605/>

**【下田東急ホテル 概要】**

開業日:1962年(昭和37年)10月8日

所在地:静岡県下田市五丁目12-1

電話:0558-22-2411

施設:客室112室、レストラン、ラウンジ、温泉、  
屋外プール(夏季期間のみ)

Webサイト:

<https://www.tokyuhotels.co.jp/shimoda-h/>



**【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】**

下田東急ホテル 販売促進 岩本(いわもと)

電話:0558-22-2411(代表)

メールアドレス:shimoda-h@tokyuhotels.co.jp